

風のたより

平成22年10月15日
そよかぜ委員会事務局
筑北村社会福祉協議会
電話：66-2506

そよかぜ委員会発足

地域福祉推進検討委員会

筑北村社会福祉協議会（社協）では平成二十二年六月三十日、地域福祉推進検討委員会を立ち上げました。平成二十三年度に向けた地域福祉活動強化計画の策定について検討を行います。

筑北村社協では、地域福祉を推進するという社協本来の目的を達成するため、理事会・評議員会の承認を経て、委員として次の十二名を選出しました。

宮入範吉（社協会長） 花岡好道（同副会長） 山田正義（同理事） 山崎征子（同） 矢原恵子（筑北村住民福祉課課長補佐） 中村敬子（社協事務局長） 久保田豊子（同地域福祉部長） 小山八重子（ボランティアコーディネーター） 鈴木尚志（福祉

活動専門員） 佐藤文男（支え合いサロン支援員） 山岸秀敏（同） 滝澤美起子（同）。

第一回委員会では、委員会設置要綱を承認し、委員会の愛称を「そよかぜ委員会」とすることとし、宮入委員長および花岡副委員長を選任、筑北村の地域福祉についての現状と課題について話し合いました。

今後、住民アンケートを実施、分析を経て課題解決に向けた計画を検討し、平成二十三年三月には計画を決定する予定を確認しました。



住民アンケートを実施

無作為に300世帯

そよかぜ委員会では、広く住民のみなさまに地域福祉についてのご意見をお伺いするため、社協会員の中から三百名を無作為に抽出、さらに社協の理事・評議員の併せて三百四十五名の方に、アンケートを実施しました。

アンケートは①社協会費の使途について②支え合いサロンについて③地域福祉の活動単位について④ボランティア活動について⑤障害者自立支援について⑥配食サービスについて⑦生活支援サービスについてを中心にご回答選択式（一部記述あり）で、八月十八日付け発送しました。発送から間もない

同二十三日には二十通の返答があり、その後一日平均二十五通ほどのペースで九月二十九日まで七十一パーセントにあたる二百四十五通の回答をいただきました。

現在集計と分析作業に入っております。まとまり次第本紙にてご報告いたします。

九月二十一日、第二回委員会が開催されました。社協職員向けのアンケートも実施しており、住民アンケートの中間報告とともに委員会でご報告されました。

これらのアンケート結果をもとにテーマを絞って分科会方式で検討を進める予定になっています。

「風のたより」について

社協の活動を広く知っていただくために、これまで年三回の広報誌「そよかぜ」を発行してきましたが、発行時期と記事内容に時間差が生じるケースもあり、もっと身近に情報をという声と、そよかぜ委員会の検討内容も逐次ご報告する必要があるのでの見解から、かわら版的な別冊情報紙として本紙を発行することとなりました。

「そよかぜ」からの便りという意味で名称を「風のたより」とつけました。これからよろしくお願ひします。